



筑後市立病院からのご報告

救急ヘリポート完成!!

当院屋上に救急ヘリポートが完成しました。5月13日の竣工式には、筑後市長、久留米大学病院長、行政や医療関係者、当院職員など約70人が出席しました。

竣工式では、久留米大学病院高度救命救急センターの基地局からドクターヘリが飛来し、患者搬送の訓練も行いました。

救急ヘリポートは地域医療再生計画に基づく災害拠点病院としての整備事業のひとつとして、国からの基金をもとに設置しました。ヘリポートを病院屋上に設置することにより、重篤な救急患者の迅速な治療や搬送が可能となり、救急機能が格段に向上します。

筑後市立病院では、ICUや救急外来など一部施設は7月より稼働、他の施設整備も9月末完成を目標に併せて行っており、地域医療の中心を担う病院として、平成27年度中には災害拠点病院の指定を受ける予定です。



国際学会参加報告

2013年、2014年に呼吸器分野の国際学会ATS(American Thoracic Society)に参加しました。2013年はフィラデルフィアで開催。ポスタープレゼンテーション&ディスカッションの形式でCOPD(※)についての発表をしました。今年5月20日にサンディエゴで開催。共同演者としての参加でした。普段接することのない研究者の世界を垣間みることができ、おおいに刺激を受けました。貴重な経験を今後の臨床に生かせればと思っています。

(呼吸器内科医師 末友 仁)

※COPD(慢性閉塞性肺疾患)
従来、慢性気管支炎や肺気腫と呼ばれてきた病気の総称です。タバコ煙を主とする有害物質を長期に吸入曝露することによって生じた肺の炎症性疾患であり、喫煙習慣を背景に中高年に発症する生活習慣病といえます。
(日本呼吸器学会ホームページより)



第14回院内学会

平成26年6月7日(土曜)
筑後市立病院多目的ホール

病院理念の一つである「生涯研修」を実践するため、毎年院内学会を開催しております。

今年17題の演題発表があり、糖尿病透析予防指導チームや褥瘡(※)対策委員会などの専門チームからの発表もありました。さまざまな職種の視点から意見や質問が飛び交い、大変充実した学会となりました。

また、院長はじめ各部門の代表により審査をし、優秀な研究発表に対し表彰を行いました。このような意見交換の場を医療サービス向上のためにも継続していきたいと思っております。



最優秀賞：外来
救急外来における看護記録の現状と調査
熱中症症例患者を振り返って

優秀賞：リハビリテーション室
誤嚥性肺炎患者に対するリハビリの現状と課題

優秀賞：栄養管理室(糖尿病透析予防指導チーム)
糖尿病透析予防指導の現状と今後の課題

※褥瘡とは：寝たきりなどによって、体重で圧迫されている場所の血流が悪くなったりに滞ること、皮膚の一部が赤い色味をおびたり、たれたり、傷ができてしまうこと。一般的に床ずれともいわれる。
(日本褥瘡学会ホームページより)

